

専門学校ESPエンタテインメント東京 ギタークラフト科2年制 ギター製作コース

授業科目名	ギター製作講義Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	ギター製作講義Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	75回(75単位時間)	年間単位数	5
科目設置コース	ギター製作総合コース/ギター製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
ギター・ベースギターの種類は構造上大きく2つ、細かくは5つに分類される。それぞれの特徴的な加工方法や手順があるため、種類ごとの製作法を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
オリジナル作品を製作するための知識の修得。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～37回目	在学中における3作品目以降は自由製作であり、選択した製作モデル毎に分けて講義を行う。 ・ソリッドモデル ①デタッチャブルモデル ②セットネックモデル ③スルーネックモデル ・アコースティックモデル ④フルアコースティックモデル ⑤フラットトップアコースティックモデル				
	以上5つに分類される構造から、希望するモデルを選択し、その工法を学ぶ。				
	内容はそれぞれのモデルに合った作業工程を「ギター製作概論Ⅰ」と同様に行う。				
【後期】 38～75回目	在学中における3作品目以降は自由製作であり、選択した製作モデル毎に分けて講義を行う。 ・ソリッドモデル ①デタッチャブルモデル ②セットネックモデル ③スルーネックモデル ・アコースティックモデル ④フルアコースティックモデル ⑤フラットトップアコースティックモデル				
	以上5つに分類される構造から、希望するモデルを選択し、その工法を学ぶ。				
	内容はそれぞれのモデルに合った作業工程を「ギター製作概論Ⅰ」と同様に行う。				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ギタークラフト科2年制 ギター製作コース

授業科目名	ギター共通講義Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	ギター共通講義Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	75回(75単位時間)	年間単位数	5
科目設置コース	ギター製作総合コース/ギター製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
「ギター共通講義Ⅰ」を踏まえ、様々なギター・ベースに対応できるように理解を深める。					
<b>到達目標</b>					
上記に付随した各単元ごとの内容を理解し習得する。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～9回目	調整リペアⅡ デタッチャブルモデルの調整について/ナット加工のバリエーション・フロイドローズの基本構造/調整				
【前期】 10～15回目	塗装Ⅱ メイプル指板の塗装・メタリック/パール塗装について・生地着色・オイルフィニッシュ				
【前期】 16～28回目	ギター配線学Ⅱ・アンプエフェクター基礎Ⅱ 各代表モデルの配線・ノイズ対策・増幅系のエフェクター・音色変化系のエフェクター				
【前期】 29～37回目	材料学 木材の木取りと特徴/種類				
【後期】 38～47回目	調整リペアⅡ アコースティックモデルの調整/改造				
【後期】 48～67回目	ギター配線学Ⅱ・アンプエフェクター基礎Ⅱ 空間・モジュレーション系・アンプの構成・仕組み・アクティブ回路・アコースティックモデルの配線				
【後期】 68～75回目	材料学 ナットの種類と音色/ハードパーツに使用される材料・フレットや弦の素材と音色の関係				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ギタークラフト科2年制 ギター製作コース

授業科目名	ギター製作実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ギター製作実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	706回(706単位時間)	年間単位数	23
科目設置コース	ギター製作総合コース/ギター製作コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ギターメーカーの工場にて製造業務を担当。製造現場での職務経験を活かした指導、作業法の伝授を行う。				
<b>授業概要</b>					
ギター、ベースギター(ソリッドモデルまたはアコースティックモデル)の製作を行う。					
<b>到達目標</b>					
各々の目標を設定した技能向上、および新工法の修得。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～353	2年次1本目 ラフスケッチ・製図・木工加工ネック/ボディ・塗装・配線・組み込み・調整				
【後期】 354～706	2年次2本目 ラフスケッチ・製図・木工加工ネック/ボディ・塗装・配線・組み込み・調整				
評価方法	実習製作物の評価、出席率、平常点の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	作業進行が速い場合、2年次3本目以降の製作も可能。				